

## 報告事項

### 第1号 令和元年度事業報告について

#### 1. 2019年度優秀業績の表彰

2019年度優秀業績については慎重に検討された結果、

池松 秀之 氏（日本臨床内科医会）

「*In vitro* neuraminidase inhibitory concentration (IC<sub>50</sub>) of four neuraminidase inhibitors in the Japanese 2016-17 season: Comparison with the 2010-11 to 2015-16 seasons」(Journal of Infection and Chemotherapy 2018 Vol.24, No.9 p707-712)

および

「Duration of fever and other symptoms after the inhalation of laninamivir octanoate hydrate in the 2016/17 Japanese influenza season; comparison with the 2011/12 to 2015/16 seasons」(Journal of Infection and Chemotherapy 2018 Vol.24, No.9 p718-724)

以上、1件に二木賞が授与されることとなった。

田代 将人（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野）

「Selection of Oral Antifungals for Initial Maintenance Therapy in Chronic Pulmonary Aspergillosis: A Longitudinal Analysis」(Clinical Infectious Diseases 2019)

上記の研究業績に対して日本感染症学会北里柴三郎記念学術奨励賞が授与されることとなった。

また、第94回日本感染症学会会長表彰は以下の3名となった。

武藤 義和（公立陶生病院感染症内科）

「Incomplete Recovery of CD4 Cell Count, CD4 Percentage, and CD4/CD8 Ratio in Patients with Human Immunodeficiency Virus Infection and Suppressed Viremia During Long-term Antiretroviral Therapy」(Clinical Infectious Diseases 2018 67)

山口 雅也（大阪大学大学院歯学研究科口腔細菌学教室）

「Identification of evolutionarily conserved virulence factor by selective pressure analysis of *Streptococcus pneumoniae*」(Communications Biology 2019)

名西 悦郎（米国ボストン小児病院）

「A Nationwide Survey of Pediatric-onset Japanese Encephalitis in Japan」(Clinical Infectious Diseases 2019 68)

#### 2. 講演会

平成31年4月4日～4月6日、名古屋国際会議場において第93回学術講演会を三鴨廣繁会長のもとで開催した。

参加人数：2,609人

会長講演1題、特別公演4題、招請講演3題、山口恵三先生追悼講演1題、教育講演39題、教育講演（英語）30題、シンポジウム13題、シンポジウム（英語）6題、共催シンポジウム4題、New Drug Symposium 4題、ワークショップ5題、共催ワークショップ1題、パネルディスカッション7題、共催パネルディスカッション1題、合同シンポジウム10題、ASIANシンポジウム1題、Literature review 2018-2019 1題、Case-based research oriented seminar 1題、委員会企画シンポジウム1題、臨床研究促進助成報告1題、症例から学ぶ感染症セミナー1題、委員会報告2題、一般演題382題（口演：251題、口演（英語）：20題、ポスター：106題、ポスター（英語）：5題）、Late breaking セッション7題

#### 3. 雑誌刊行

##### 1) 感染症学雑誌

第93巻1号より逐次刊行した。

地方会学術集会プログラムを掲載した。

##### 2) Journal of Infection and Chemotherapy

Vol.25, No.1より逐次刊行した。

インパクトファクター：1.539

JIC Award 2019 (Vol.24 p802-6)

Kimiko Ubukata, AOM Surveillance Study Group, *et al.*

Genetic Characteristics and Antibiotic Resistance of *Haemophilus influenzae* Isolates From Pediatric Patients With Acute Otitis Media After Introduction of 13-Valent Pneumococcal Conjugate Vaccine in Japan.

#### 4. 地方会

・第68回東日本地方会学術集会は、令和元年10月16日～10月18日の3日間、金光敬二会長のもとで第66回日本化学療法学会東日本支部総会（藤村 茂会長）と合同で仙台市・仙台国際センターで行われた。

特別講演 2 題、特別企画シンポジウム 1 題、シンポジウム 18 題、教育講演 15 題、ベーシックレクチャー 17 題、Current Topics 1 題、男女共同参画企画 1 題、症例から学ぶ感染症セミナー 1 題、ICD 講習会 1 題、教育セミナー 22 題、委員会企画 1 題、抗菌薬適正使用生涯教育セミナー 1 題  
一般演題 264 題 (感染症: 166 題、化療: 98 題)

参加人数 1501 名

- ・第 62 回中日本地方会学術集会は矢野邦夫会長のもとで、第 89 回西日本地方会学術集会は石田直会長のもとで令和元年 11 月 7 日～9 日の 3 日間、第 67 回日本化学療法学会西日本支部総会 (岩崎博道会長) と合同開催で浜松市・アクトシティ浜松で行われた。

会長講演 3 題、特別講演 3 題、教育講演 13 題、シンポジウム 14 題、他学会共同企画 2 題、パネルディスカッション 4 題、ワークショップ 2 題、感染症入門講座 19 題、委員会企画 6 題、抗菌薬適正使用生涯教育セミナー 1 題、症例から学ぶ感染症セミナー 1 題、西日本地方会優秀論文発表会 1 題、中日本地方会学術奨励選考セッション 11 題、ICD 講習会 1 題、ランチョンセミナー 13 題、イブニングセミナー 3 題、学生セッション 6 題 (中日本: 3 題、化療 3 題)、研修医セッション 29 題 (中日本 9 題、西日本 18 題、化療 2 題)

一般演題: 278 題 (中日本: 71 題、西日本: 112 題、西日本化療: 95 題)

参加人数 1506 名

## 5. 感染症専門医審議委員会

### 1) 感染症専門医試験合格者 87 名

(敬称略)

安間 章裕	生山 裕一	池内 和彦	石黒 信久	石橋 令臣	泉田 真生	井藤 英之	伊藤 文人
伊藤 有平	伊奈 研次	稲澤奈津子	稲葉 正人	伊野 和子	今井 一男	今北菜津子	上野 大輔
宇田 和宏	遠藤 知之	王 康治	岡部 綾	小川 英輝	小川 将人	長 盛親	面川 歩
柿本 聖樹	片桐 祐司	上井 康寛	亀山 明子	来住 知美	北川 浩樹	君塚 善文	熊手 絵璃
黒田 浩一	小坂 充	児玉 文宏	小林 敦子	小林 慧悟	小宮 幸作	酒巻 一平	坂本 洋平
櫻井 亜樹	佐々木俊治	佐藤 秀憲	山藤栄一郎	塩塚 美歌	進藤 達哉	須加原一昭	鈴木 高子
鈴木 哲也	関 雅之	田中 正孝	寺島 俊和	寺田 教彦	戸田 祐太	戸高 貴文	轟 貴史
中島 隆弘	長田 学	中村 啓二	檜崎 秀彦	西尾 智尋	西山 直哉	服部 文彦	林 智史
原田 陽介	東 祥嗣	平山 達朗	廣瀬 翔子	福井 悠人	福井由希子	福島 慎二	船木 俊孝
本田 宏幸	本間 義人	松本 正孝	光根 歩	宮田 順之	宮本 健志	村瀬 享子	森口 修平
森田 充紀	守山 祐樹	安間 恵子	柳川 泰昭	横山 宏司	吉井 直子	渡邊 裕介	

### 2) 更新者 263 名

令和 2 年 1 月 1 日現在専門医数 1,564 名

### 3) 指導医 51 名

### 4) 感染症専門医認定研修施設 311 施設 (ホームページ参照)

### 5) 感染症サマースクール 2019

2019 年 8 月 2 日 (金) ～3 日 (土) 品川プリンスホテル

参加者: 43 名

### 6) 感染症ベーシックスクール 7 箇所

### 7) HP にて感染症アトラスを公開した。

### 8) 新専門医制度移行に向け、内科学会が開発した症例登録システム J-0sler (サブスペ版) を利用することとした。

## 6. インフルエンザ委員会

### 1) 提言「抗インフルエンザ薬の使用について」を 2019 年 10 月 24 日に HP にて公開した。

### 2) 11 月 3 日 (日) イイノホール&カンファレンスセンターにおいて「新型インフルエンザの診療と対策に関する研修」を日本呼吸器学会と共催して行った (主催: 厚生労働省)。プログラムについては厚生労働省 HP 参照。

## 7. 感染症遺伝子検査委員会

### 1) 腸管感染症の現状についてのアンケート調査を行なった。

## 8. 臨床研究促進委員会

### 1) 第 2 回日本感染症学会臨床研究促進助成 (2019 年度)

受賞者: 今井 一男 氏 (埼玉医科大学)

研究課題: 我が国に居住する南米出身者のシャーガス病罹患状況調査と診療支援体制の構築

### 2) ワークショップ開催

第 93 回日本感染症学会学術講演会

ワークショップ: あなたの日常診療を科学にしよう

Accepted Paper Session - 臨床研究の着想から論文アクセプトまで成功体験を共有する -

### 3) Institut Merieux Young Investigator Awards 2020 (若手研究者賞)

受賞者: 金森 肇 氏 (東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座感染制御・検査診断学分野)

### 4) レジオネラ症の起因菌分布に関するサーベイランス検討 WG を立ち上げた。

## 9. 学際化国際化委員会

### 1) 学際化

・プライマリ・ケア連合学会との共催セミナー開催

- ・ Japan Sepsis Alliance に学会として参加（日本救急医学会、日本集中治療医学会、日本感染症学会）
- 2) 国際化
  - ・ 第 93 回日本感染症学会学術講演会  
招請講演 2 (IDSA)、招請講演 3 (ESCMID)
  - ・ 19<sup>th</sup> International Congress on Infectious Diseases (19<sup>th</sup> ICID) においてシンポジウムを共催する（2020 年 9 月に延期）。
- 10. ワクチン委員会
  - 1) 日本呼吸器学会と合同で「65 歳以上の成人に対する肺炎球菌ワクチン再接種に関する考え方（第 3 版）」を作成し、HP に公開した。
  - 2) “風疹ゼロ”プロジェクトに賛同した。
- 11. 男女共同参画推進委員会
  - 1) 第 93 回日本感染症学会学術講演会にて、委員会報告「各学会における男女共同参画の取り組み」を行なった。
  - 2) 第 62 回日本感染症学会中日本地方会・第 89 回日本感染症学会西日本地方会時に委員会企画として「知っておきたい男女共同参画のミニ知識」を行なった。
- 12. オリンピック・パラリンピック アド・ホック委員会
  - 1) 「症状からアプローチするインバウンド感染症への対応～東京 2020 大会にむけて～感染症クイックリファレンス」を作成し、HP に公開した。
- 13. 特殊検査施設情報収集委員会
  - 1) 日本臨床微生物学会と合同で、先進的感染症検査マップを作成し、HP に公開した。
- 14. 気道感染症の抗菌薬適正使用委員会
  - 1) 「気道感染症の抗菌薬適正使用に関する提言」を感染症学雑誌および HP に掲載した。
  - 2) 「気道感染症の抗菌薬適正使用に関する提言（ダイジェスト版）」を作成し、会員に配布した。
- 15. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）関連
  - 1) セミナー
    - ・ 2月7日（金）に東京慈恵会医科大学新橋校 2 号館 1 階講堂において、緊急セミナー「新型コロナウイルス 2019-nCoV への対応」を開催した（日本環境感染学会合同）。
    - ・ 2月13日（木）にパシフィコ横浜において、メディア・市民向けセミナー「新型コロナウイルス（COVID-19）感染症への対応」を開催した（日本環境感染学会合同）。
  - 2) HP 公開資料
    - ・ 「新型コロナウイルス（2019-nCoV）感染症への対応について」（2020 年 1 月 28 日）
    - ・ 「一般診療として患者を診られる方々へ」（2020 年 2 月 3 日）
    - ・ 「新型コロナウイルス感染症に関する注意事項」（2020 年 2 月 3 日）
    - ・ 「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）-水際対策から感染蔓延期に向けて-」（2020 年 2 月 21 日）
    - ・ 「COVID-19 に対する抗ウイルス薬による治療の考え方 第 1 版」（2020 年 2 月 26 日）
    - ・ 「新型コロナウイルス感染症の現状と対策 水際対策から感染蔓延期に移行するときの注意点」（2020 年 2 月 28 日）
  - 3) 会員から緊急報告として症例を募集し、HP に掲載した。
- 16. 他学会合同事業
  - 1) 「JAID/JSC 感染症治療ガイド 2019」を刊行し会員に配布した（日本化学療法学会合同）。
  - 2) 「*Clostridioides (Clostridium) difficile* 感染症診療ガイドライン」を和文誌に全文掲載した（日本化学療法学会合同）。
  - 3) 「MRSA 感染症の治療ガイドライン 2019 年改訂版」を HP に公開した（日本化学療法学会合同）。
  - 4) 9 月 22 日（日）に SMBC ホールにおいて合同セミナー「オリンピック・パラリンピックに向けての感染対策」を開催した。（参加人数：297 名）（日本化学療法学会、日本臨床微生物学会、日本環境感染学会合同）
  - 5) 2020 年のマスコガザリングに向けた感染症予防連携プロジェクト FUSEGU2020 を発足した（日本環境感染学会合同）。
- 17. 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会  
第 12 回（2019 年）皮膚科領域、呼吸器領域
- 18. ICD 制度協議会  
新規認定者 215 名 有資格者数 3,474 名（当学会推薦）

※上記事業報告については、感染症学雑誌に掲載の議事録参照。

## 庶務報告

1. 会員数 正会員：10,612名 賛助会員：23件 令和2年2月29日現在  
除名については該当者無し
2. 第93回日本感染症学会総会は平成31年4月4日、名古屋国際会議場において行った。
3. 平成31年度評議員会は平成31年4月4日、名古屋国際会議場において行った。
4. 理事会は7回行った。
5. 感染症学雑誌編集委員会は2回行った。  
Journal of Infection and Chemotherapy 編集委員会は3回行った。
6. 学会賞選考委員会は1回行った。
7. 専門医審議会2回、専門医育成・教育部会会議1回、専門医試験委員会5回行った。
8. 学際化・国際化委員会は2回行った。
9. 男女共同参画推進委員会は1回行った。
10. インフルエンザ委員会は7回行った。
11. 四学会理事長懇談会は1回行った。
12. 経理事務打合会は1回行った。